

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753

ルネサス エレクトロニクス株式会社

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/contact/>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RX*-A096A/J	Rev.	第1版
題名	RX600 シリーズ、RX200 シリーズ I ² C バスインタフェース (RIIC) のアドレス一致検出機能に関する誤記訂正		情報分類	技術情報	
適用製品	RX610 グループ、 RX62N グループ、RX621 グループ、 RX62G グループ、RX62T グループ、 RX630 グループ、 RX63N グループ、RX631 グループ、 RX63T グループ、 RX210 グループ、RX21A グループ、 RX220 グループ	対象ロット等 全ロット	関連資料	RX610 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.20 (R01UH0032JJ0120) RX62N グループ、RX621 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.30 (R01UH0033JJ0130) RX62T グループ、RX62G グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.2.00 (R01UH0034JJ0200) RX630 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.50 (R01UH0040JJ0150) RX63N グループ、RX631 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.70 (R01UH0041JJ0170) RX63T グループ ユーザーズ マニュアル ハードウェア編 Rev.2.10 (R01UH0238JJ0210) RX210 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.50 (R01UH0037JJ0150) RX21A グループ ユーザーズマニ ュアルハードウェア編 Rev.1.00 (R01UH0251JJ0100) RX220 グループ ユーザーズマニ ュアルハードウェア編 Rev.1.10 (R01UH0292JJ0110)	
<p>上記適用製品のユーザーズマニュアル ハードウェア編「I²C バスインタフェース (RIIC)」章において、アドレス一致検出機能に関する誤記がありますので訂正いたします。</p> <p>【訂正内容】</p> <p>1. ジェネラルコールアドレス検出機能 (RX62N グループ、RX62T グループは非適用) 「ジェネラルコールアドレス検出機能」項の本文 6～7 行目を下記のとおり訂正いたします。</p> <p>[誤] RIIC はジェネラルコールアドレスを検出すると、SCL クロックの 9 クロック目の <u>立ち下がり</u> で ICSR1.GCA フラグを“1”にし、同時に ICSR2.RDRF フラグを“1”にします。</p> <p>[正] RIIC はジェネラルコールアドレスを検出すると、SCL クロックの 9 クロック目の <u>立ち上がり</u> で ICSR1.GCA フラグを“1”にし、同時に ICSR2.RDRF フラグを“1”にします。</p>					

2. デバイス ID アドレス検出機能

「デバイス ID アドレス検出機能」項の本文 3～4 行目を下記のとおり訂正いたします。

[誤] 続く R/W#ビットが“0”のとき SCL クロックの 9 クロック目の立ち上がりで ICSR1.DID フラグを“1”にした後、2 バイト目以降と自スレーブアドレスとの比較動作を行います。

[正] 続く R/W#ビットが“0”のとき SCL クロックの 8 クロック目の立ち上がりで ICSR1.DID フラグを“1”にした後、2 バイト目以降と自スレーブアドレスとの比較動作を行います。

3. ホストアドレス検出機能 (RX62N グループ、RX62T グループは非適用)

「ホストアドレス検出機能」項の本文 4～5 行目を下記のとおり訂正いたします。

[誤] RIIC はホストアドレスを検出すると、SCL クロックの 9 クロック目の 立ち下がりで ICSR1.HOA フラグを“1”にし、Wr ビット (R/W#ビットに“0”を受信) のとき ICSR2.RDRF フラグを“1”にします。

[正] RIIC はホストアドレスを検出すると、SCL クロックの 9 クロック目の 立ち上がりで ICSR1.HOA フラグを“1”にし、Wr ビット (R/W#ビットに“0”を受信) のとき ICSR2.RDRF フラグを“1”にします。

以上